

青年部は、四月決戦ストの最先頭で闘い抜く!

日刊 動労千葉

80.4.14
NO.402

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八九(公衆電話)22七二〇七

八〇春闘
勝利

4.11 青年部総決起行動 に、百五十名結集!

四月十一日、動労千葉青年部は、春闘決戦ストを前にして、ストなし策動を打ち破り、八〇春闘をけん引すべく、春闘総決起行動をかちとった。決戦段階に突入した八〇春闘を動労「本部」反動分子との一年有余にわたる組織攻防戦に敢然と勝利し、今激動の八〇年代を勝利に向って着実に進む闘いの最先頭部隊としての青年部の文字通りの動労千葉の中核として、闘い抜く決意が満天下に明らかたされた。

終始熱気につつまれ、打ち抜かれた決起集会!

午前中の春闘総決起集会には、各支部青年部百五十名の圧倒的結集をもって、会場の千葉運転区講習室は熱気につつまれた。

冒頭、戸村常任の開会宣言が行われ、田中青年部長の決意とあいさつ、来賓として動労千葉関川委員長、千葉運転区支部桜沢書記長、三里塚反対同盟青行隊寺内氏の共に春闘―三里塚を闘うあいさつが行われた。

その後、元千葉地本青年部長であった 滝口氏(幕張支部執行委員)より「一年間の動労千葉の輝かしい前進のうえに新しい青年部の闘いを築こう」という力強い講演と、繁沢書記長からの基調提起が報告された。

基調提起が、参加者全体の拍手で確認され、各支部青年部よりの決意表明に移った。決意表明の最後には、三月三十一日結成をかちとった、佐倉支部青年部の仲間が全員壇上にたち、なりやまぬ拍手の中で、苦闘をのりこえ共に勝利する固い決意が述べられた。

この後、外山常任より行動提起がおこなわれ、庁舎中にひびきわたるシュプレヒコールで集会后、午後十時頃、千葉駅前へ移っていった。

青年部集団交渉↓千葉駅前
頭宣伝・署名行動を貫徹!

集会后、運転区庁舎前に再結集した青年部は、千葉鉄道管理局までデモ行進を貫徹、シュプレヒ

コールのあと、集団交渉と千葉駅前宣伝の部隊に分かれて行動した。

「申七号」にもとづく青年労働者の要求に対し、当局は全く誠意のない回答に終始し、三五万人体制合理化、運転保安、この間における学園活動に対する不当介入、ジェット燃料貨車輸送問題などに対し、いままさらながら激しい怒りの声と、鋭い追及が行われた。

千葉駅前街頭宣伝では、県労連宣伝車上よりのアピール、三里塚二期工事に反対する百万署名などを中心に展開し、わずかに二時間足らずの間に、二百五十名を超える署名や圧倒的なカンパが寄せられ、二千枚のピラは、またたくまにまききられたのである。

4・11 錦糸町襲撃をはねかえしてかちとられた地平!

一日の行動を闘い抜いた青年部は、千葉駅で合流、千葉運転区前で、江沢常任からの交渉報告、戸村常任からの街頭宣伝報告をうけ、吉野副青年部長の行動総括の後、動労千葉布施行委員のあいさつが行われ、団結ガンバローの三唱をもって春闘総決起行動を終了した。

昨年四月十一日、動労「本部」反動分子による錦糸町駅での暴力的襲撃事件から一年、青年部はこれら一さいの反動と対決し、のりこえ、勝利の地平を確立し、一步一步大きく前進してきている。全組合員のみならず、青年部を先頭に八〇春闘勝利を目指し、低額回答打破、四月決戦ストを断固闘い抜こう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

4/15 80春闘勝利 動労千葉総決起集会
一七時半 千葉運転区 全力動員